
平成 30 年度 赤十字血液シンポジウム東北のご案内


平素より日本赤十字社の血液事業にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今般、日本赤十字社東北ブロック血液センター及び秋田県赤十字血液センターの主催により平成 30 年度赤十字血液シンポジウム東北を開催いたします。

ご多忙中恐縮ではございますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

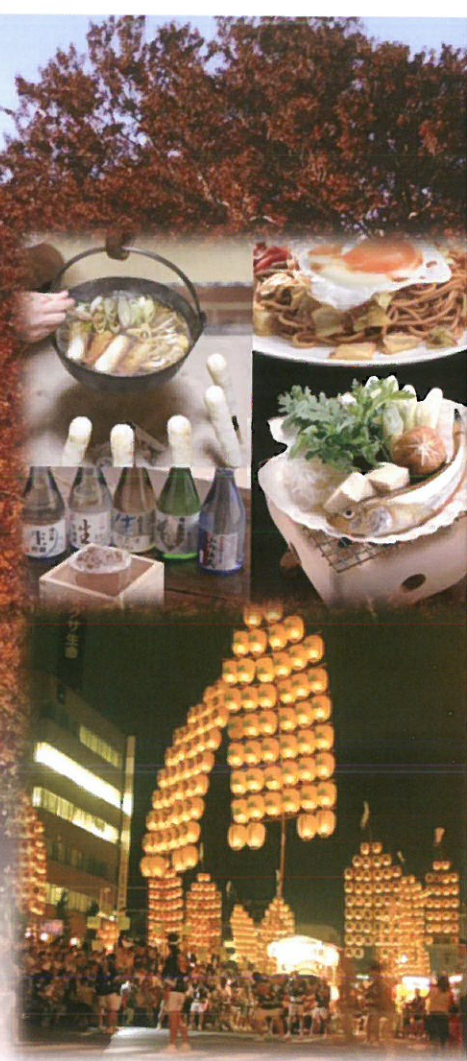
開催日時、演題等につきましては、別紙をご参照ください。

- ◎ 参加費は無料です。
- ◎ 本シンポジウムは、次の制度の単位となります。
 - 日本医師会生涯教育制度
 - 日本薬剤師教育センター認定薬剤師制度又は
日病薬病院薬学認定薬剤師制度のいずれか
 - 日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度
 - 日本輸血・細胞治療学会が指定する認定制度

 日本赤十字社 東北ブロック血液センター
秋田県赤十字血液センター

平成30年度 赤十字血液 シンポジウム東北

適正で安全な輸血のために



第1部 適正な輸血:血液製剤の使用指針について
第2部 安全な輸血:輸血チーム医療について

日時 2018年11月10日(土)

13:00~18:00

会場 秋田アトリオン音楽ホール
アトリオン(秋田総合生活文化会館・美術館)4階

秋田市中通二丁目3-8

参加費 無料

Symposium
in Akita



問い合わせ

秋田県赤十字血液センター 学術・品質情報課

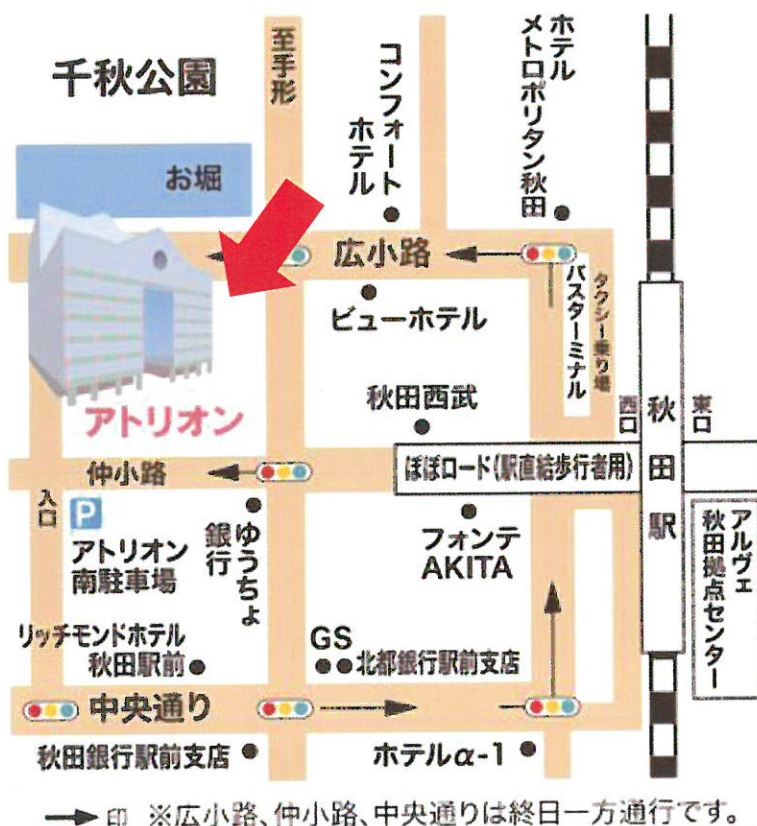
〒010-0941

TEL: 018-865-5545

秋田市川尻町字大川反233-186

FAX: 018-888-2299

- 参加費：無料
- 会場へのアクセス



- 新幹線、在来線でお越しの場合 : 秋田駅西口 下車徒歩5分
- 飛行機でお越しの場合 : 秋田空港ー秋田駅西口
リムジンバス利用約40分
- お車でお越しの場合 : 秋田南I.Cより車で約22分
秋田中央I.Cより車で約15分

※アトリオン南駐車場のほか、駐車場は複数ございますが、公共交通機関のご利用をお願いいたします。



©忠犬八公と秋田犬のふるさと大館市

平成 30 年度
赤十字血液シンポジウム 東北

日時 平成 30 年 11 月 10 日(土)
13:00～18:00 (受付 12:00～)

会場 秋田アトリオン音楽ホール
アトリオン(秋田総合生活文化会館・美術館)4F

入場 無 料

主催 日本赤十字社東北ブロック血液センター
秋田県赤十字血液センター

後援 日本医師会
日本看護協会
日本病院薬剤師会
日本臨床衛生検査技師会
日本輸血・細胞治療学会

各種認定

日本医師会生涯教育制度、日本薬剤師教育センター
認定薬剤師制度又は日病薬病院薬学認定薬剤師制度
のいずれか、日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修
制度、日本輸血・細胞治療学会が指定する認定制度
(輸血認定医、認定輸血検査技師、学会認定・自己血輸血看護師、
学会認定・臨床輸血看護師、学会認定・アフエレーシスナース)

《 プログラム 》

13 : 00 ~ 13 : 10

開会挨拶 秋田県赤十字血液センター 所長 面川 進

13 : 10 ~ 13 : 40

パイプオルガン演奏 オルガニスト 田代 友美

13 : 45 ~ 15 : 15

第一部 適正な輸血：血液製剤の使用指針について

座長：青森県赤十字血液センター 所長 柴崎 至

講演 1 「赤血球製剤の使用指針」

秋田大学医学部附属病院 輸血部 副部長 藤島 直仁

講演 2 「血小板製剤の使用指針」

東北大学病院 輸血・細胞治療部 副部長 藤原 実名美

講演 3 「新鮮凍結血漿製剤の使用指針」

弘前大学医学部附属病院 輸血部 副部長 玉井 佳子

15 : 15 ~ 15 : 30 (休憩)

15 : 30 ~ 17 : 50

第二部 安全な輸血：輸血チーム医療について

座長：福島県立医科大学 総括副学長 大戸 斉

岩手県赤十字血液センター 所長 中居 賢司

講演 1 「輸血医療チームの役割 ―安全で適正な輸血医療の実践を目指して―」

虎の門病院 輸血部 部長 牧野 茂義

講演 2 「看護師の立場」

神鋼記念病院血液病センター 学会認定・臨床輸血看護師 松本 真弓

講演 3 「検査技師の立場」

大曲厚生医療センター 臨床検査科 主任検査技師 林崎 久美子

講演 4 「薬剤師の立場」

市立秋田総合病院 薬剤部 主任 金子 貴

17 : 50 ~ 18 : 00

閉会挨拶 福島県赤十字血液センター 所長 峯岸 正好

《 講演要旨 》

第一部 適正な輸血：血液製剤の使用指針について 13：45～15：15

講演1 「赤血球製剤の使用指針」

輸血療法は極めて有用な支持療法であるが、輸血に伴う有害事象を完全には回避できない。近年、輸血医学においても輸血トリガー値を設定した大規模な前向き無作為化臨床試験に基づいた EBM (evidence-based medicine) が注目されている。日本輸血・細胞治療学会では「科学的根拠に基づく輸血ガイドライン」の作成に力を入れており、「血液製剤の使用指針」が 2017 年 3 月に大幅に改定された。赤血球製剤については、さらなるエビデンスの構築が求められる。

講演2 「血小板製剤の使用指針」

厚生労働省からの「血液製剤の使用指針」が平成 29 年 3 月末に改定され、1 年余りが過ぎた。血小板輸血は強いエビデンスが出にくい分野であるが、使用指針策定のベースとなった日本輸血・細胞治療学会のガイドライン及び血小板製剤の使用上の注意点について、日々の診療に役立てていただけるよう、わかりやすく解説する。

講演3 「新鮮凍結血漿製剤の使用指針」

平成 29 年 3 月 31 日付で、『血液製剤の使用指針』の一部改定が発出された。新鮮凍結血漿 (fresh frozen plasma; FFP) 投与が、「血漿因子の欠乏による病態の改善を目的とする」ことは改定前と同様である。新指針では FFP の適応はごく一部の例外 (血栓性血小板減少性紫斑病; TTP 等) を除いて、複合的な凝固因子の補充に限定されることが記された。血漿分画製剤の国内自給を推進・維持するために、FFP 適正使用を積極的に推進することが補記されている。最新の改定情報も含めて概説する。

第二部 安全な輸血：輸血チーム医療について 15：30～17：50

講演1 「輸血医療チームの役割 ― 安全で適正な輸血医療の実践を目指して ―」

輸血療法には多くの職種が関わるため、チームを作って実践することが輸血療法の安全性と適正化を推進するための必須条件であり、輸血チーム医療を推進するためには、各医療スタッフの専門性の向上と情報共有が必要です。実際に輸血医療チームを構成する際には、医師と臨床検査技師のみならず、輸血現場のキーパーソンである看護師と血漿分画製剤に関して薬剤師が輸血療法に関与することが重要です。安全で適正な輸血医療の実践のために今後の輸血医療チームの活躍を期待しています。

講演2 「看護師の立場」

看護師は、チーム医療で必要な連携の推進役であり、ベッドサイドと輸血管理部門の連携をスムーズにするのは、学会認定・臨床輸血看護師 (以下、輸血看護師) の大きな役割であると言えます。日本輸血・細胞治療学会が示した「輸血チーム医療に関する指針」には、輸血看護師は、ベッドサイドにおける輸血業務だけでなく、看護師を対象にした輸血研修の計画的な実施、各部門での教育はもちろん、輸血療法委員会や医療安全対策委員会などへの参加を通じて、輸血療法の安全な施行を目指すことが求められています。本シンポジウムでは、「輸血チーム医療に関する指針」が示す輸血看護師の役割や具体例をご紹介します。

講演3 「検査技師の立場」

輸血医療は、輸血の必要性を判断し指示する医師、迅速かつ正確に輸血検査を行う検査技師、輸血の実施から輸血副作用の観察を行う看護師など、多職種が連携し行われる唯一の医療であると考えます。今回のテーマである「輸血チーム医療」の大きな目的は、患者様に不利益がないよう安全に輸血療法を行うことと考える。そこで、当院で活動している輸血療法院内監査、危機的出血への対応シミュレーション、薬剤師との連携について活動を報告する。

講演4 「薬剤師の立場」

病院薬剤師が新たに取り組んでいる業務には、医療従事者の負担軽減及び薬物療法の有効性、安全性の向上に資する薬剤関連業務として病棟薬剤業務がある。患者個別の薬学的管理を行う薬剤管理指導も含め、その専門性を活かして多職種と連携することで質の高いチーム医療が実現されると考える。輸血医療においても同様と考えるが、その関わりについては十分とは言えない。今後、安全で適正な輸血医療を実践するために薬剤師が関与できる役割について報告する。

《 参加申込方法 》

参加申込なしでのご参加は可能ですが、参加者事前受付にご協力ください。
「平成 30 年度赤十字血液シンポジウム東北」のホームページ

https://www.bs.jrc.or.jp/th/bbc/special/m6_04_00_index.html にアクセスして参加申込書をダウンロードし、必要事項をご記入いただき、FAX にてお申し込みください。

参加申込 FAX 番号:022-777-8366

《 問い合わせ先 》

秋田県赤十字血液センター 学術・品質情報課
電話 018-865-5545 FAX 018-888-2299

《 会場案内 》



- 新幹線、在来線でお越しの場合 : 秋田駅西口 下車徒歩5分
- 飛行機でお越しの場合 : 秋田空港—秋田駅西口
リムジンバス利用約40分
- お車でお越しの場合 : 秋田南I.Cより車で約22分
秋田中央I.Cより車で約15分

※アトリオン南駐車場のほか、駐車場は複数ございますが、公共交通機関のご利用をお願いいたします。